

# 大腸内視鏡検査の説明書

ID. 氏名

検査日 20 年 月 日( ) 午前・午後 時 分

検査当日は、予約時間の30分前までに医院にお越しください。

## 目的・方法

大腸内視鏡検査は大腸にできる病気(ポリープ・がん・炎症など)を発見し、治療方法を選択するために行います。内視鏡を肛門から挿入して、大腸を観察します。そのため下剤を飲んで腸のなかをきれいにします。

検査前日は午後8時までに食事を済ませ、夜9時に錠剤の下剤を3錠服用してください。

検査当日午前中にご自宅で下剤を内服していただき(別紙参照)、検査は午後1時～3時の間に行います。検査時間は、患者様により個人差がありますが、およそ15～30分くらいです。内視鏡挿入時に、お腹が張ったり、痛みを感じたりする場合があります。検査途中で体の向きを変えたり、お腹を用手圧迫したりします。

検査のはじめに消化管の動きを抑える目的で鎮痙剤を注射(筋肉注射か静脈注射)することがあります。一時的に動悸や口渇が出たり、目が見えづらくなったりすることがあります。緑内障・心疾患・前立腺肥大症のある方や過去に使用して体調悪くなったことがある方は使用できませんので、必ずお申し出ください。

小さいポリープ(約1cm未満)は当院で内視鏡治療行います。治療を希望されない方につきましては、内視鏡検査をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。ただし、血液をさらさらにするお薬を飲んでいる方は、薬の内容によってその場では切除できないこともあります。

サイズの大きなポリープは万が一を考えて当院では治療せず、入院施設のある病院をご紹介します。

## 検査の危険性(偶発症・合併症)

内視鏡検査は細心の注意を払って行いますが、偶発症・合併症が全くないわけではありません。内視鏡挿入時やポリープ切除時などに腸管穿孔や出血などの偶発症をおこすことがあります。

日本消化器内視鏡学会の報告では、2008年から2012年の5年間における偶発症発生頻度は全国集計で0.073%でした。挿入時の腸管穿孔は、ほとんどの場合大腸の癒着や大腸憩室症など腸壁の脆弱な部分から発生します。この場合は直ちに病院を紹介し、入院・手術を含めた治療が必要になります。

小さいポリープでも切除後に出血や穿孔などの偶発症が発生することがあります。治療後は院内で1時間安静が必要で、その後約1週間の食事制限や禁酒・旅行の禁止などを守っていただく必要があります。激しい運動や長風呂は避け、シャワー程度にしてください。ご予約のある方は、日程の調整をお願いいたします。

万が一持続する出血・下血がみられた場合は、医院にご連絡ください。夜間など医院と連絡がつかない場合は、救急対応の病院を受診してください。その際は検査後お渡しする当院での内視鏡レポートを病院に渡してください。程度によっては緊急入院となり、内視鏡による止血治療や手術が必要になることがあります。少量の出血が1、2回程度でしたら自然止血する可能性があるため安静にして様子みてください。ご不明な点や不安なことは、医師・スタッフに声をかけてください。



## 常備薬の注意

- ・糖尿病で治療中の方: 糖尿病の薬は検査当日の朝・昼は内服(注射)しないでください。  
検査終了後、食事開始してから再開してください。
- ・高血圧、不整脈の方: 降圧剤、抗不整脈薬は検査当日の朝、飲んできてください。
- ・精神科薬内服の方: 普段飲んでいる抗不安薬などは検査当日も内服可能です。
- ・血液をサラサラにする薬(抗凝固薬)は、検査当日は服用しないでください。

薬品名( )

その他内服薬のことで不明な点はスタッフにお聞きください。

## 鎮静剤使用について

検査中の苦痛や不安を和らげるため、鎮静剤の使用が可能です。ただし、副作用で脱力や意識低下の危険性があります。検査中に血圧低下や呼吸抑制、アレルギーなどの副作用を発症し、生命に危険が及ぶこともあります。

検査終了後、安全のため必ず約30分から1時間休んでいただきますが、それでも脱力や鎮静効果の持続のため、大きな事故を起こす危険性があります。帰宅の際は自動車、バイク、自転車の運転を絶対に禁止しています。ご自身の運転は、検査翌日まで禁止です。

以上の点をご理解いただき、鎮静剤を希望される方は、同意書にサインをお願いします。

その他内服薬でご不明な点は、スタッフにご確認ください。  
具合が悪くなったり、わからないことがある場合は、電話でご連絡ください。



みはら医院

みはら医院

院長 美原静香

042-746-7280

説明を受けた日付とサイン(自筆)

日付

20 年 月 日

サイン